

**板橋区旧中央図書館跡地施設整備構想及び整備計画策定支援業務委託  
事業者選定 評価基準**

**1 目的**

この基準は、板橋区旧中央図書館跡地施設整備構想及び整備計画策定支援業務委託（以下、「本委託」という）事業者の選定に関し、最適な提案者を公平かつ公正に選定するために必要な事項を定めることを目的とする。

**2 選定方法**

**（１）第一次審査（書類選考）**

応募者から提出された申込書、見積書、提案書、実績書等を選定委員が審査し、選定委員評価点が高い上位５者を選定する。なお、応募者が５者以内の場合は、資格審査のみを実施する。

**①選考基準**

○参加資格の有無

参加資格の有無を確認する。１つでも参加資格を有しない項目があった場合、その応募者は第二次審査へは進めない。

○選定委員評価点

評価項目については、本業務の目的や内容に応じて必要性を考慮し、概ね次の内容のとおり設定し、選定委員による採点を行う。

《項目１ 提案の趣旨》

提案の趣旨は板橋区が依頼した募集説明に対する回答として明確であり、板橋区の要望と合致しているか

《項目２ 組織体制・進行管理》

本事業を実施するにあたり、十分な組織体制を構築しているか。具体的かつ合理的なスケジュールを提案しているか。

《項目３ 実績》

同種、類似の事業実績があり、本委託の実施に必要な実績・ノウハウを有しているか。

**②配点と採点**

○配点は一項目につき５点とし、項目ごとに０～５点で採点する。

５点 最上位    ４点 上位    ３点 中位    ２点 下位    １点 最下位

０点 該当項目なし

○満点は１５点とする。

**③評価点**

○選定委員による評価は、別表１「評価書（第一次審査）」のとおりとする。

○評価点は、以下の方法で計算される。

- ・選定委員ごとの評価書の採点数を計算する。
- ・各選定委員の全ての採点数を加算する（選定委員総合計点）。

《計算例》

A選定委員評価点	…	１５点
B選定委員評価点	…	１２点
C選定委員評価点	…	１３点
選定委員総合計点	…	４０点（１５点＋１２点＋１３点）

④評価点が同点で複数いる場合、重要項目の評価点が高い順に順位を決定する。

No.1「項目1 提案の趣旨」

No.2「項目2 組織体制・進行管理」

No.3「項目3 実績」

重要項目順位はNo.1>No.2>No.3とする。

⑤評価点が同点で、かつ、重要項目の点数も同じ場合には、実施要領第6条第5項に定めるとおり、委員の多数決により決定し、この多数決も同数の場合には、委員長の決するところによる。

## (2) 第二次審査(プレゼンテーション)

第一次審査を通過した応募者によるプレゼンテーションを実施し、選定委員がヒアリング及び評価を行い、評価点が最も高い者を提案採用者として決定する。

### ①選考基準

評価項目については、本業務の目的や内容に応じて必要性を考慮し、概ね次の内容のとおり設定し、選定委員による採点を行う。

#### 《項目1 業務目的・内容<sup>\*1</sup>》

本業務の目的を理解し、「行政需要の充実」・「地域の魅力向上」に資する内容を含め、基本設計・実施設計に繋がる整備構想及び整備計画委託業務目的・内容の提案となっているか。

#### 《項目2 常盤台公園と合わせた魅力向上方策<sup>\*1</sup>》

常盤台公園との一体的な空間整備により、地域の魅力向上が実現できる具体的な方策の提案があるか。

#### 《項目3 自転車駐車場整備に対する方策<sup>\*1</sup>》

自転車駐車場整備に向けた効率的・効果的な提案があるか。

#### 《項目4 既存躯体活用検討方策<sup>\*1</sup>》

既存躯体活用に向けた合理的な検討フロー及び活用イメージの提案があるか。

#### 《項目5 地域住民説明・意見聴取<sup>\*1</sup>》

地域住民への説明や意見聴取をどのように行うか具体的かつ効果的な提案があるか。

#### 《項目6 進行管理<sup>\*1</sup>》

整備構想・整備計画策定及び工事完了までのスケジュールについて具体的かつ合理的な提案があるか。

#### 《項目7 組織体制》

委託内容の運営支援を確実に実行できる専任性の高い担当者を配置しているか。また、組織体制は万全で、板橋区との役割分担の認識は明確か。

#### 《項目8 契約実績》

同種、類似の事業(既存施設の改修・施設屋上の公園利用等)実績があり、本委託実施に必要な実績・ノウハウを有しているか。

#### 《項目9 意欲・受け答え等》

発表から本委託業務に対する強い意志と積極性を感じられたか。質疑応答が明瞭であったか。また、その他ヒアリングにより特に加点したい項目があるか。

#### 《項目10 区内事業者の活用<sup>\*2</sup>》

以下基準を参考に採点をする。

- 5点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある（主に業務を行う企業）
- 4点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある（JV 参加企業）  
区内に営業拠点である 支社又は支店がある（主に業務を行う企業）
- 3点 区内に営業拠点である 支社又は支店がある（JV 参加企業）
- 2点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、具体的な記載がある。
- 1点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、方針等に関する記載がある。
- 0点 上記記載がない。

#### 《項目 1 1 提案金額※<sup>2</sup>》

以下基準を参考に採点をする。なお、提案金額が配点の境である場合は点数の多い方を採用する。

- 5点 契約上限金額×70～80%、
- 4点 契約上限金額×65～70%及び80～85%
- 3点 契約上限金額×60～65%及び85～90%
- 2点 契約上限金額×55～60%及び90～95%
- 1点 契約上限金額×50～55%及び95～100%
- 0点 契約上限金額×50%未満

※1 プロポーザル方式の手引きによる必須審査項目（提案内容）であり、その合計の配点割合が第1位になるように設定が必要な項目

※2 プロポーザル方式の手引きによる必須審査項目（その他）

#### ②配点と採点

○配点については、重要項目の「項目2」「項目3」「項目4」「項目6」は係数を4、「項目1」「項目5」「項目7」「項目9」は係数を3、その他の項目（項目8、10、11）は係数を2として算定し、満点は170点とする。

○項目ごとに0～5点で採点する

- 5点 最上位 4点 上位 3点 中位 2点 下位 1点 最下位
- 0点 該当項目記載なし

#### ③評価点

○選定委員による評価は、別表2「評価書(第二次審査)」のとおりとする。

○評価点は、以下の方法で計算される。

- ・選定委員ごとの評価書の採点数を計算する。
- ・各選定委員の全ての採点数を加算する（選定委員総合計点）。

##### 《計算例》

A選定委員評価点	…	110点
B選定委員評価点	…	106点
C選定委員評価点	…	102点
選定委員総合計点	…	318点(110点+106点+102点)

④評価点が高点で複数いる場合、重要項目の評価点が高い順に順位を決定する。

- No.1「項目2 常盤台公園と合わせた魅力向上方策」
- No.2「項目3 自転車駐車輪場整備に対する方策」
- No.3「項目4 既存躯体活用検討方策」
- No.4「項目6 進行管理」

重要項目順位は No. 1>No. 2>No. 3> No. 4 とする。

- ⑤評価点が同点で、かつ、重要項目の点数も同じ場合には、実施要領第 7 条第 5 項に定めるとおり、委員の多数決により決定し、この多数決も同数の場合には、委員長が決するところによる。